

ブランダジン利用規約（利用者）

1. 総則

1. （目的）

本利用規約は、株式会社インエディット（以下、「会社」という）が提供する「ブランダジン」及びこれに付随する諸般サービスの利用に関し、会社と会員の権利、義務及び責任事項、その他必要な事項を定めることを目的とします。

2. （用語の定義）

① 本利用規約で使用する用語の定義は、次のとおりです。

1. 「会員」とは、本利用規約に基づき利用契約を締結し、会社が提供するサービスを利用する者を意味します。
2. 「サービス」とは、会社が提供する衣類レンタル及び販売サービス、これに付随する諸般サービスであり、「ブランダジン」に関連する一切のサービスを意味します。
3. 「モバイルデバイス」とは、コンテンツをダウンロード又はインストールして使用できるデバイスであり、携帯電話、スマートフォン、携帯情報端末（PDA）、タブレットなどを意味します。
4. 「アプリ」とは、サービスを利用するために、モバイルデバイスを介してダウンロード又はインストールして使用する一切のプログラムを意味します。
5. 「オープンマーケット」とは、モバイルデバイスからアプリをダウンロードして有料サービスを決済できるように構築されている電子商取引環境を意味します。
6. 「ID」とは、会員の識別やサービスの利用のために、会員登録時に会員が決めて会社が承認する文字や数字又はその組み合わせを意味します。
7. 「パスワード（Password）」とは、会員の同一性の確認と会員の権益及び秘密保護のために、会員が自ら設定してサービスに登録した文字や数字又はその組

み合わせを意味します。

8. 「コンテンツ」とは、会社が会員に提供する符号・文字・音声・音響・画像・映像・図形・色彩・イメージなど（これらの複合体も含む）を意味します。

- ② 本利用規約で使用する用語の定義は、本条第1項で定めるものを除き、関係法令及びサービス別のポリシーの定めに基づいており、これに定めのないものについては、通常の商慣習に従うものとします。

3. (利用規約の効力及び変更)

- ① 会社が本利用規約の内容を、会社のホームページ又はアプリの画面に掲載するかその他の方法（テキストメッセージ、電子メール、メッセージャー、ログイン時の同意画面など）で利用者に通知し、その内容に同意した利用者が本サービスに登録して会員になった時に本利用規約の効力が発生します。
- ② 会社は、必要に応じ、関係法令に違反しない範囲で本利用規約を変更可能で、利用規約を変更する場合は、適用日及び改正理由を明示し、現行の利用規約と共に第1項の方法でその適用日の7日前から適用日の前日まで告知します。ただし、会員の権利又は義務に関する重要規定の変更時には、適用日の30日前に上記の方法で告知し、第24条第1項の方法で会員に通知します。
- ③ 会社は、第2項に基づき、変更された利用規約を告知又は通知する際に、会員に利用規約の変更適用日まで拒否意思を表示しない場合は利用規約の変更に同意したものとみなすという内容を告知又は通知したにもかかわらず、会員が明示的に利用規約の変更に対する拒否意思を表示しなかった時は、会員が変更された利用規約に同意したものとみなします。変更された利用規約に同意しない会員は、サービスを利用できない場合があり、会員はサービスの利用を中断し、利用契約を解除できます。

4. (利用契約の締結及び適用)

- ① 本サービスの利用を希望する者（以下、「登録申請者」という）が、本利用規約の内容に同意し、サービスの利用申請を行い、会社はその申請について承諾することにより締結されます。
- ② 会社は、次の各号のいずれかに該当する利用申請については承諾を拒否できます。

1. 実名でない場合か他人の名義又は情報を利用した場合
 2. 利用申請書の内容を虚偽で記載したか利用申請要件を満たしていない場合
 3. 会社がサービスを提供していない国で、正常ではない又は迂回的な方法でサービスを利用する場合
 4. 関係法令で禁止する行為又は社会の公序良俗を阻害する目的でサービスの利用を申請した場合
 5. 営利を追求する目的でサービスを利用する場合
 6. 利用規約の違反により会員資格を失ってから再登録する場合
 7. 14歳未満の者が申請する場合
 8. その他各号に準ずる理由により承諾が不適切だと判断される場合
- ③ 会社は、サービス関連設備に余裕がないか技術上又は業務上、問題がある場合は、それが解消されるまで承諾を留保できます。

5. (利用規約外の準則)

- ① 会社は、必要に応じ、特定のサービスに関して適用される個別利用規約を定め、第24条第1項又は第2項に基づき告知可能で、個別利用規約に対する同意は、会員が特定のサービスを初めて利用する時に別途の同意手続きを行うこととなります。この場合、個別サービスに対する利用規約が本利用規約より優先します。
- ② 本利用規約又は個別利用規約で定めていない事項及び本利用規約の解釈については、関係法令又は通常の商慣習に従うものとします。

2. 個人情報管理

1. (個人情報の保護)

会社は、関係法令の定めに基づき、会員の個人情報を保護するために努力し、個人情報の保護及び取り扱いに対し、関係法令及び会社の個人情報取扱方針に従います。ただ

し、会社が提供するサービス以外のリンクされたサービスに対しては、会社の個人情報取扱方針は適用されません。

3. 利用契約当事者の義務

1. (会社の義務)

- ① 会社は、関係法令、本利用規約で定める義務を、信義に従い誠実に遵守します。
- ② 会社は、継続的かつ安定的なサービスを提供するためにサービスの改善を行っている途中に、設備に障害が発生するか、データなどが滅失・毀損された場合は、天災地変、緊急事態、現在の技術では解決できない障害や欠陥など、やむを得ない事由がない限り、遅滞なくこれを修復するよう最善の努力を尽くします。

2. (会員の義務)

- ① 会員は、次の各号の行為をしてはなりません。
 - 1. サービスの申請又は変更時に、虚偽情報又は他人の情報を使用する行為
 - 2. 会社が掲示した情報の変更又はサービスに障害を与える行為
 - 3. 他の会員の個人情報及びアカウント情報を無断で収集・保存・公開・流布する行為
 - 4. リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、その他一切の加工行為を通じ、サービスを複製、分解又は模倣その他変形する行為
 - 5. 自動接続プログラムなどを使用するなど、通常の方法とは異なる方法でサービスを利用し、会社のサーバーに負荷を与え、会社の正常なサービスを妨げる行為
 - 6. 本人ではない第三者にアカウントを貸与、譲渡するなど、アクセス権限を付与する行為
 - 7. 会社やその他の第三者の著作権など、知的財産権を侵害する行為

8. 会社及びその他の第三者の名誉を損なうか業務を妨げる行為
 9. ギャンブルなど、蛇行行為をするか誘導する行為、淫乱・低俗な情報を交流・掲載する行為、わいせつサイトを投稿（リンク）する行為、恥・嫌悪感又は恐怖心を引き起こす文・音・文字・画像・写真又は映像を他人に転送又は流布する行為など、サービスを不健全に利用する行為
 10. 掲示板に連続投稿する目的で、同じ又は類似の投稿又は意味のない投稿を繰り返して掲載する行為
 11. 会社の同意なしに営利、営業、広告、広報、政治活動、選挙運動など、本来の用途以外の用途でサービスを利用する行為
 12. 会社のサービスを利用して知り得た情報を無断で複製・流通・助長するか、商業的に利用する行為、公開又は未公開のバグを悪用してサービスを利用する行為
 13. 他人を偽って利益を取る行為、会社のサービスの利用に関し、他人に被害を与える行為
 14. 会社のサービスを通じてレンタルした衣類を故意に毀損するか、毀損後、本条第4項に基づく損害賠償を行わない行為
 15. 会社のサービスを通じてレンタルした衣類の返却を遅延する行為
 16. その他、違法又は不当な手段及び目的による行為
- ② 会員は、会社のサービスによる衣類レンタル期間中、当該衣類に対する一切の責任を負担します。ただし、会社の責に帰すべき事由による場合はこの限りではありません。
- ③ 会員は、会社のサービスを通じて衣類をレンタルする場合、衣類の使用・着用前に、レンタルした衣類の異常有無を会社に通知する必要があり、衣類受領後48時間以内に当該衣類の異常有無を会社に通知しない場合は、当該衣類に異常がないものとみなします。
- ④ 会員が会社のサービスを通じてレンタルした衣類を使用・着用する過程で、レンタルした衣類の損傷又は紛失が発生した場合は、次の各号に従います。
1. 軽い汚染（一般洗濯で復旧可能な非永久的な汚染）、軽い生活スクラッチ、製

品に付着されている付属品が落ちたが、付属品を回収した状態など、簡単な方法により元の状態に復旧可能な損傷の場合は、修繕費用は会社が負担します。

2. 永久的な汚染（一般洗濯で復旧不可能な汚染）、製品の生地への損傷、製品に付着されているか、製品と共に同封されている付属品（装身具）が紛失された状態など、元の状態で復旧できない損傷が発生したか、レンタルした衣類の紛失が発生した場合、会員はレンタルした衣類の消費者価格（商品のタグに記載されている価格）に相当する金額を会社に損害賠償額として支払います。この場合、レンタルした衣類の所有権は、会員に帰属します。
- ⑤ 会員が会社のサービスを通じてレンタルした衣類を返却期限内に返却しない場合、会社は会員に対し、1日の延滞日当たり最大1万ウォンの延滞料を課することができ、延滞料はサービス内に記載します。会社は、具体的な事実関係に基づき、取り立て、盗難届など、必要な法的手続きを進めることができます。
- ⑥ 会員が会社のサービスを通じてレンタルした衣類を購入（所蔵）する場合、会員は、購入日から7日以内に払い戻し、交換などを要請できます。ただし、会員の都合による返金、交換の場合は、送料は会員の負担とします。
- ⑦ 会員は、サイトに登録されている本人の会員アカウントに関するアクセス権及びアクセス手段を安全に管理する必要があると、会員の責に帰すべき事由により発生したアカウントの盗用とサービスの利用に対する責任を負います。
- ⑧ 会員は、本利用規約及び会社が本サービスに関連し告知する内容を遵守する必要があり、利用規約及び告知の内容に違反する又は履行しないことにより発生するすべての損失、損害に対し責任を負います。

4. サービスの利用及び制限

1. (サービスの提供)

- ① 会社は、第4条の定めに基づき、利用契約が完了した会員に対し、直ちにサービスを利用できるようにします。ただし、一部のサービスの場合は、会社の必要に応じ、指定日よりサービスを開始することもあります。
- ② 会社は、会員にサービスを提供する時、本利用規約に定めるサービスを含め、その他の付加サービスを共に提供できます。

- ③ 会社は、会員の等級を区分し、利用回数、提供するサービスの範囲などを細分化し、利用に差をつけることができます。

2. (サービスの利用)

- ① サービスの提供は、会社の業務上又は技術上、特別な支障がない限り、年中無休1日24時間を原則とします。
- ② 第1項にもかかわらず、会社は、次の各号に該当する場合は、サービスの全部又は一部を一時停止できます。この場合、会社は、事前にその停止の理由と期間をアプリの初期画面やサービスのお知らせなどに告知します。ただし、事前に告知できないやむを得ない事情がある場合は、事後に告知できます。
1. システムのメンテナンス、サーバーの増設及びリプレース、ネットワークの不安定など、システム運用上必要な場合
 2. 停電、サービス設備の障害、サービス過負荷、通信事業者の設備保守又はメンテナンスなどにより正常なサービスの提供が不可能な場合
 3. 展示、事変、天災地変又はこれに準ずる国家緊急事態など、会社が統制できない状況が発生した場合
- ③ 会社は、ウェブサイトとアプリを通じてサービスを提供します。会員は、アプリをインストールしてサービスを利用できます。
- ④ 有料サービスを利用するか、衣類を購入する場合は、そのサービスに明示されている料金又はその衣類の価格を支払う必要があります。
- ⑤ ダウンロードしてインストールしたアプリ又はネットワークを介して利用するサービスの場合は、モバイルデバイス又はキャリア事業者の特性に合わせて提供します。モバイルデバイス又は番号の変更、あるいは海外ローミングの場合は、コンテンツの全部又は一部を利用できないことがあり、この場合、会社は責任を負いません。
- ⑥ ダウンロードしてインストールしたアプリ又はネットワークを介して利用するサービスの場合は、バックグラウンド作業が行われることがあります。この場合、モバイルデバイス又はキャリア事業者の特性に合わせるために追加料金が発生することがあり、これに関し会社は責任を負いません。

3. (サービスの変更及び中止)

- ① 会社は、円滑にサービスを提供するため、運用上又は技術上の必要に応じ、サービスを変更することができ、変更する前にその内容をサービス内に告知します。ただし、バグやエラーなどの修正や緊急アップデートなど、やむを得ず変更する必要がある場合又は重大な変更該当しない場合は、事後に告知することがあります。
- ② 会社は、営業譲渡・分割・合併等による営業の廃止、コンテンツ提供の契約満了、当該サービスの著しい収益の悪化など、経営上の重大な事由によりサービスを継続することが困難な場合は、サービスを中止できます。この場合、中止日の30日前まで中止日及びその事由をアプリの初期画面又はその接続画面、会社のホームページなど、その他のサービス提供画面を通じて告知し、第24条第1項又は第2項の方法により会員に通知します。

4. (広告の提供)

- ① 会社は、サービスの運営に関し、サービス内に広告を掲載できます。また、受信に同意した会員に限り、電子メール、テキストメッセージ (LMS/SMS)、プッシュ通知 (Push Notification) などの方法で情報性広告を送信できます。この場合、会員はいつでも受信を拒否可能で、会社は会員が受信を拒否した場合は情報性広告を送信しません。
- ② 会社が提供するサービス内のバナー又はリンクなどを通じて他人が提供する広告やサービスに遷移されることがあります。
- ③ 第2項に基づき、他人が提供する広告やサービスに遷移される場合、当該画面で提供されるサービスは、会社のサービス範囲ではないため、会社が信頼性、安定性などを保証せず、これによる会員の損害に対しても会社は責任を負いません。

5. (著作権などの帰属など)

- ① 会社が制作した一切のコンテンツに対する著作権やその他の知的財産権は、会社に帰属します。
- ② 会員は、会社が提供するサービスを利用して知り得た情報を、事前に会社の同意を得ることなく複製・転送、編集、公表、公演、配布、放送、二次的著作物の作成な

どの方法で営利目的に利用するか、他人に利用させてはなりません。

- ③ 会員が他人の著作権などの知的財産権を侵害し、会社が他人から損害賠償請求などの異議申立てを受ける場合、会員は、会社の免責のために努力する必要がある、会社が免責されない場合は、会社に発生したすべての損害を負担しなければなりません。
- ④ 会社は、会員がサービス内に投稿した投稿（画像、映像などを含めるが、これに限らない）をサービス内の露出、サービス又はレンタル衣類の広報のための活用、サービスの運営、改善及び新しいサービス開発のための研究の目的のため、保存、複製、修正、公衆送信、展示、配布、二次的著作物の作成の方法で利用できます。
- ⑤ 会社は、会員が掲示又は投稿するサービス内の掲示物に対し、第8条第1項の各号に規定されている禁止行為のいずれかに該当すると判断される場合は、事前に通知することなく、これを削除又は移動あるいはその投稿を拒否できます。
- ⑥ 会社が運営する掲示板などに投稿された情報により、法律上利益が侵害された会員は、会社に対し、電子メール（hello@brandazine.com）でその情報の削除又は反論の掲載を要請できます。この場合、会社は、関係法令に基づき、必要な措置をとり、これを申請者に通知します。
- ⑦ 本条は、会社のサービス運営間中有効であり、会員退会後も継続的に適用されます。

6. (有料サービスの利用など)

- ① サービス内で会員が購入した有料サービスの利用及び購入については、次の各号に従います。
 - 1. サービス内で会員が購入した有料サービス（衣類レンタルを含む）は、会員のみ使用できます。会員は、これを複製、再レンタルなどの方法で第三者に利用させてはなりません。
 - 2. 会員が購入した有料サービスの利用期間は、購入時に明示された期間に従います。
 - 3. 本利用規約に明記されていない有料サービスの購入、案内事項などについては、サービス内の有料サービスの詳細ページに従います。
- ② サービス内で会員が購入した衣類については、次の各号に従います。

1. 会員がレンタルして使用中の衣類を購入する場合は、購入日をその衣類の引渡日とみなします。
2. 本利用規約に明示されていない衣類の購入、案内事項などについては、衣類の詳細ページに従います。

7. ポイント

- ① 会社は、会員の活動に対する報酬としてポイントを交付できます。ポイントは返金できません。
- ② 会員は、会社のポリシーに従ってポイントを利用し、有料サービス利用料の全部又は一部を支払うことができます。
- ③ ポイントに関するポリシーは、サービス内に掲示します。

8. (会員に対するサービスの利用制限)

- ① 会社は、会員が本利用規約の義務に違反したかサービスの正常な運営を妨げる場合、サービスの利用を制限できます。ただし、会員がレンタルした衣類の返却を遅延する場合は、累計3回に達するとサービスの利用を制限します。
- ② 会社が第1項で定めた利用制限措置を行う場合は、次の各号の事項を会員に通知します。
 1. 利用制限措置の事由
 2. 利用制限措置の種類及び期間
 3. 利用制限措置に対する異議申立ての方法
- ③ 会社は、次の各号の事由に対する調査が完了するまで、そのアカウントのサービス利用を停止できます。
 1. アカウントがハッキング又は盗用された場合又は犯罪に利用されたという正当な通報を受けた場合
 2. その他、これに準ずる事由によりサービス利用に対する暫定措置が必要な場合

9. (利用制限措置に対する異議申立ての手続き)

- ① 会員が会社の利用制限措置に不服する場合は、この措置の通知を受けた日から14日以内に不服の理由を記載した異議申立書を書面、電子メール又はこれに準ずる方法で会社に提出する必要があります。
- ② 会社は、第1項の異議申立書を受け付けた日から14日以内に不服の理由に対し、書面、電子メール又はこれに準ずる方法で回答します。ただし、会社は、この期間内に回答が困難な場合は、その理由と処理日程を通知します。
- ③ 会社は、不服の理由が妥当な場合は、これに応じた措置をとります。

5. 請約撤回、過誤納金の還付及び 利用契約の解除

1. (代金の決済)

- ① 会員がアプリ内でサービス又は衣類に対する「購入（する）」、「決済（する）」、「（決済）確認」などのボタンをクリックすることにより、本利用規約及び掲示された購入条件に基づき有料サービス利用契約あるいは衣類購入契約が成立し、これに対する代金（以下、「購入代金」）が決済されます。代金の賦課と納付は、原則として会員が選択した決済手段の定めるポリシーや方法に従います。
- ② 購入代金を外貨で決済する場合は、為替レート・手数料などにより、実際の請求金額がサービスで表示された価格と異なることがあります。
- ③ 会員がサービス又は衣類を注文してから一定期間内に購入代金を決済しない場合、会社は当該注文を会員の同意なしに取り消すことができます。

2. (請約撤回など)

- ① 会社と有料サービス又は衣類の購入に関する契約を締結した会員は、購入契約日とコンテンツ利用可能日のうち、遅い日から7日以内に請約撤回をできます。

- ② 「電子商取引などにおける消費者保護に関する法律」など、関係法令で定める請約撤回が不可能なサービスの場合は、請約撤回権が制限されます。ただし、関係法令で、会社に請約撤回権の制限のための措置をとるよう要求する場合、会社は該当措置をとります。
- ③ 会員は、第1項及び第2項にもかかわらず、購入した有料サービス又は衣類の内容が表示、広告の内容と異なるか、購入契約の内容に相違して履行された場合は、当該コンテンツが利用可能になった日から3ヶ月以内、その事実を知った日又は知り得た日から30日以内に請約を撤回できます。
- ④ 会員が請約を撤回する場合、会社は、オープンマーケット事業者など、決済手段提供者を通じて購入履歴を確認します。又、会社は、会員の正当な撤回理由を確認するため、会員から提供された情報に基づき、会員に連絡して追加の証明を要求可能で、これに関する確認が完了するまで、取引の進行を中止するか、確認不可能な当該取引を取り消すことができます。

3. (過誤納金の払い戻し)

- ① 会社は、過誤納金が発生した場合、過誤納金を会員に還付します。ただし、過誤納金が会社の故意又は過失なしに会員の過失により発生した場合は、その還付にかかる実際の費用は、合理的な範囲内で会員が負担します。
- ② 会社は、会員が選択した決済手段に応じ、決済を取り消すか、該当の決済手段を通じて還付することができます。
- ③ 会社は、過誤納金の還付を処理するため、会員から提供された情報に基づき、会員に連絡することがあり、必要な情報の提供を要請できます。

4. (契約の解除など)

- ① 会員は、いつでもサービスの利用を希望しない場合は、会員退会を通じ、利用契約を解除できます。会員退会により、会員がサービス内で保有しているサービス利用情報は、個人情報取扱方針に別段の定めがない限り、全て削除され、復旧できなくなります。
- ② 会社は、会員が本利用規約で禁止する行為をするか、法令に違反するなど、利用契約を維持できない重大な事由がある場合は、サービスの利用を中止するか、利用契

約を解除できます。

6. 損害賠償及び免責条項など

1. (損害賠償)

- ① 会社又は会員は、本利用規約に違反し相手に損害を与えた場合は、その損害を賠償する責任を負います。ただし、故意又は過失がない場合は、この限りではありません。
- ② 会社が個別サービスプロバイダと提携契約を締結し、会員に個別サービスを提供する場合、会員がその個別サービス利用規約に同意した後、個別サービスプロバイダの故意又は過失により会員が損害を被った時は、その損害に対しては個別サービスプロバイダが責任を負います。ただし、会社に故意又は過失がある場合は、この限りではありません。

2. (会社の免責)

- ① 会社は、天災地変又はこれに準ずる不可抗力によりサービスを提供できない場合は、サービス提供に関して責任を負いません。
- ② 会社は、次の各号の事由により会員が被った損害に対し、責任を負いません。
 1. サービス用設備の保守、交換、定期メンテナンス、工事など、その他これに準ずる事由によりサービスの利用が不可能な場合（ただし、会社の故意又は過失による場合を除く）
 2. 会員の故意又は過失によるサービス利用の障害
 3. 他の会員が掲示した投稿に、信頼性・正確性が十分ではない場合（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）
 4. 会員間又は会員と他人間のサービスを媒介に発生した取引又は紛争
 5. 無料で提供されるサービスの利用（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）

6. 会員がサービスの利用を通じて期待していた有益が実現しなかった場合
 7. 会員がアカウントのパスワード、モバイルデバイスのパスワード、オープンマーケット事業者が提供するパスワードなどを管理しなかったために、会員情報の流出が発生した場合（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）
 8. 会員がモバイルデバイスの変更、モバイルデバイスの番号変更、OSバージョンの変更、海外ローミング、キャリアの変更などにより、コンテンツの全部又は一部の機能を利用できない場合（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）
 9. 会員が会社の提供するコンテンツやアカウント情報を削除した場合（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）
 10. サーバーに対する第三者の違法な接続又はサーバーの違法な利用及びプログラムを利用した異常な接続妨害（ただし、会社の故意又は重過失による場合を除く）
 11. その他、会社の責に帰すべき事由が認められない事由として、上記の各号に準ずる事由
- ③ 会員が自己の責に帰すべき事由により個人情報や他人に流出又は提供することにより発生する被害に対し、会社は一切の責任を負いません。

3. （会員に対する通知）

- ① 会社が会員に対し通知を行う場合は、会員の電子メールアドレス、電子メモ、アプリ内のメッセージ、プッシュ通知、テキストメッセージ（SMS/MMS）などで行うことができます。
- ② 会社は、会員全体に通知を行う場合、7日以上、アプリ又は会社のホームページ内に掲示するか、ポップアップ画面などを表示することで、第1項の通知に代えることができます。

4. （裁判権及び準拠法）

本利用規約は、大韓民国の法律に準拠して解釈されます。会社と会員との間で発生した紛争により訴訟が提起される場合は、民事訴訟法に基づき、管轄権を有する裁判所を管

轄裁判所とします。

5. (会員の苦情処理及び紛争解決)

- ① 会社は、会員の利便を考慮し、会員の意見や苦情を示す方法を、サービス内又はその遷移画面に案内します。
- ② 会社は、会員から提起された意見や苦情が正当であると客観的に認められる場合は、合理的な期間内にこれを速やかに対応します。ただし、対応に長期間かかる場合は、会員に長期間かかる事由と処理日程をサービス内に告知するか第24条第1項に基づき通知を行います。

附則 (2022年5月1日)

本利用規約は、2022年5月1日から施行します。